

2023年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
作詞・作曲 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大山 佳佑			実務経験	有	職種	作詞作曲家				
担当教員紹介											
大山佳佑 1990/09/13 シンガーソングライター、ピアニスト。昭和音楽大学声楽学科ジャズ・ポピュラーコース卒業。Nissy（AAA西島隆弘）、Kinki Kids、玉置浩二、SKY-HI（AAA日高光啓）、三浦大知、クリスハート、香取慎吾（SMAP）、Ms.OOJA、TOSHI（XJapan）、TEE、Hey Say Jump!、ソン・シギョン、久保田利伸、福山雅治、桑田佳祐、コブクロ、向井太一等(順不同)のライブツアーやレコーディング、収録に参加。現在は自身の活動を主に、コーラス業、アレンジ業、音楽監督、メディアや映画音楽の収録、イベント出演など、幅広く活動中。											
授業概要											
鼻歌でメロディーを作り、コードを付け、歌詞を付けて、I 曲歌もの楽曲を完成させることを目的とする。楽器が出来る学生は楽器を用いながら、またそうでない学生はクリエイターの学生とペアを組むなどしてメロディーとコードを作成する。イントロ、A、B、サビという歌もののいわゆるひな形を理解し、この構成に則って制作を進めていく。必ず最後に発表をさせて、学生同士で意見交換などしていく。											
到達目標											
修了ライブに向けて或いは個人のアーティスト活動やオーディションでパフォーマンス出来るオリジナル楽曲を作れるようになることを目標とし、最後の授業で曲を発表する。曲数に関しては個人差があるため、それぞれの学生が必要とすることを理解し、個別サポートを行いながら、一人につき一曲は提出出来るよう指導していく。											
授業方法											
音楽理論の授業や、作詞の授業といった他の授業科目で学んだことが作曲とどう関わり、それらをどう曲作りに活かしていくのかを自分で考えながら実践中心の授業で学んでいく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
授業中の私語や受動態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	授業の目的を理解してもらうことで共通の目的意識を持ち、授業に取り組む姿勢について確認する										
第2回	基本操作を学び、打ち込みをする為の準備をする										
第3回	適当なシンセを用いて指定された歌メロを打ち込む										
第4回	適当なシンセを用いて指定された歌メロとコードを打ち込む										
第5回	4 リズムセクションの基本について学ぶ										

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
作詞・作曲 1	
第6回	ドラムのビートや各打楽器の役割について学ぶ
第7回	指定されたビートの打ち込みとフィルの作成
第8回	ベースの基本知識と役割について学ぶ
第9回	前回打ち込んだビートにベースをつける
第10回	ピアノの基礎知識と役割について学ぶ
第11回	前回までのデータにピアノでコードやメロをつける
第12回	ギター、シンセについての基礎知識と役割について学ぶ
第13回	前回までのデータにギターorシンセでコードやメロをつける
第14回	8～16小節程度で4リズムセクションの曲を作成する
第15回	国内特殊事情としてのバブル時代からバブル後の音楽シーンへの流れの分析と把握。そして現在へと繋がる流れを確認する。